

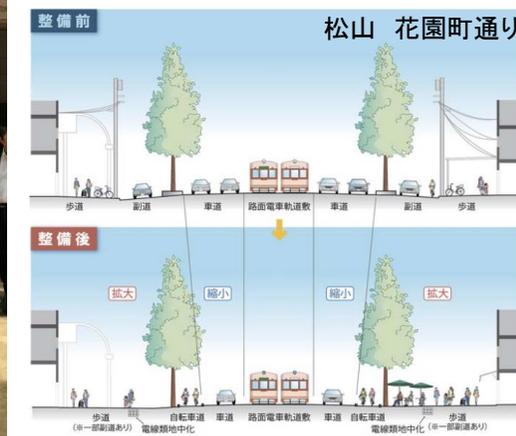
街路空間の再構築・利活用

～居心地の良い歩きたくなる街路づくり～

中国地方整備局 都市・住宅整備課

街路空間再構築・利活用 ～居心地の良い歩きたくなる街路づくり～

- 世界中の多くの都市で、街路空間を車中心から“人間中心”の空間へと再構築し、沿道と路上を一体的に使って、人々が集い憩い多様な活動を繰り広げられる場へとしていく取組が進められている。
- これらの取組は都市に活力を生み出し、持続可能かつ高い国際競争力の実現につながっている。
- 近年、国内でも、このような街路空間の再構築・利活用の先進的な取組が見られるようになったが、多くの自治体では、将来ビジョンの描き方や具体的な進め方など、どう動き出せば良いのか模索している現状。
- このような背景のもと、「居心地の良い歩きたくなる街路づくり」の全国への展開を推進。



マチマチ会議(全国街路空間再構築・利活用推進会議)

問題意識

- 今後のまちづくりにおいては、官民のパブリック空間をウォーカブルな人中心の空間に転換することにより、「居心地の良い歩きたくなるまちなか」を形成していくことが重要。
- 特に、街路空間は我々の最も身近なパブリック空間であり、より多様な使われ方、出会いや交流が生まれるような再構築・利活用を進めていくことが重要

マチマチ会議の創設

- ① 全国の街路・まちづくり担当者等が一堂に会し、新たな街路空間のあり方を議論する場として、**全国会議「マチマチ会議（全国街路空間再構築・利活用推進会議）」を立ち上げる**とともに、
- ② **「マチマチ現地勉強会」を各地で開催**し、自治体間での先進的な取組の共有、意見交換を開催。

●加盟規模：地方公共団体（約140団体・500名）を含め、約260団体・800名

開催実績及び予定

【マチマチ全国会議】

- 第1回：平成31年3月13日@都内（約230名参加）
（特別編）：平成31年5月20日@都内（約400名参加）
＜ジャネット・サディク＝カーン氏を招聘・講演＞
第2回：令和元年下半期@神戸市を予定



第1回全国会議



ジャネットサディクカーン氏講演

【マチマチ現地勉強会】

- 平成30年度：10/12@大阪市、10/26@さいたま市、
12/13@北九州市
令和元年度：7/26@仙台、
下半期@岡崎市・松山市を予定



現地勉強会@大阪



現地勉強会@北九州

都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会



- ・座長：東京大学浅見教授（住宅・都市解析）、座長代理：東北芸術工科大学馬場教授（リノベーション）
ほか委員6名 + 東京都、大阪市、名古屋市、経団連、不動協、UR等と関係省庁（内閣府等）
- ・平成31年2月～全8回にわたり、都市の魅力・国際競争力やイノベーションから、女性や高齢者等の活躍、孤独、子育てまで多分野のゲスト委員計15名を招へいし、今後のまちづくりの方向性を議論

- コンパクト・プラス・ネットワーク等の**都市再生**の取組をさらに**進化**させ、**官民のパブリック空間**を**ウォーカブルな人中心の空間**へ転換し、**民間投資と共鳴**しながら「**居心地が良く歩きたくなるまちなか**」を形成
- これにより、**多様な人々の出会い・交流**を通じた**イノベーション**の創出や**人間中心の豊かな生活**を実現し、まちの**魅力・磁力・国際競争力**の向上が**内外の多様な人材、関係人口**を更に惹きつける**好循環**が確立された都市を構築

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」からはじまる都市の再生

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」形成のイメージ

※地域特性に応じた取組を、歩ける範囲のエリアで集中的あるいは段階的に推進
※人口規模の大小等を問わず、その特性に応じた手法で実施可能

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」

Walkable

歩きたくなる

居心地が良い、人中心の空間を創ると、まちに出かけたいくなる、歩きたくなる。

Eye level

まちに開かれた1階

歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで見えれば、人は歩いて楽しくなる。

Diversity

多様な人の多様な用途、使い方

多様な人々の多様な交流は、空間の多様な用途、使い方の共存から生まれる。

Open

開かれた空間が心地よい

歩道や公園に、芝生やカフェ、椅子があると、そこに居たいくなる、留まりたいくなる。

都市構造の改変等

- 都市構造の改変 (通過交通をまちなか外へ誘導するための外周街路整備等)
- 都市機能や居住機能の戦略的誘導と地域公共交通ネットワークの形成
- 拠点と周辺エリアの有機的連携
- データ基盤の整備 (人流・交通流、都市活動等に係るデータプラットフォームの構築等) 等

「まちなかウォーカブル推進プログラム(仮称)」～国による「10の施策」～

●市町村や民間事業者等による取組を国が支援

空間の形成等を支援

仕組みの構築等を支援

連携

検討の深化

(1)人中心のまちなかへの修復・改変(リノベーション)

- ・まちなかの官民のパブリック空間をエリア一体的に捉え、**リノベーションの取組を一括で推進**する新たな制度の導入を検討(街路空間の広場化、民間建築物・敷地のパブリック化(ガラス張り化、芝生化))
- ・**駐車場の出入口・配置コントロール**を促進する制度の充実化を検討等

(2)まちなか空間の多様な利活用の促進

- ・街路、公園、水辺等の**公共空間**について、地域のニーズに合わせて**より柔軟に利活用**できる方策を検討
- ・道路、公園等の占用に係る包括許可等、イベント、オープンカフェといった活動をより柔軟に展開できる方策を検討等

(3)オープンノベーション、イノベーション・エコシステムの形成

- ・起業家、投資家など**多様な主体のコミュニティ**を形成するためのインキュベーション拠点設置を推進
- ・都市の個性に応じた、オフィス、商業、住宅など**多様な機能が複合し、共存する都市空間**の形成を促進等

(4)オンリーワン都市再生の推進

- ・国際競争力やエリア価値向上に資する、**各エリアの個性を高める都市再生事業**を推進
- ・**スマートシティ**をまちづくりの基本コンセプトとして位置づけ、取組を加速化(モデル事業の実施、官民連携プラットフォームの構築、ガイドライン策定等)等

(5)官民プラットフォーム等の育成・充実

- ・官民関係者が幅広く集結した「ゆるやかな**官民プラットフォーム**」の形成・充実を支援
- ・都市再生推進法人の**コーディネート機能・プレイヤー機能の強化**を検討等

(6)多様な資金の循環の促進

- ・**クラウドファンディング等の資金調達**手法の活用促進、まちづくりファンドの活用促進
- ・**公共空間の改修・利活用に対する資金調達**面での支援を検討等

●上記のほか、国自ら以下の取組を継続して展開し、官民の多様な主体による取組を更に推進

(7)全国ネットワークの形成

- ・専門的知見を有する**全国的中間支援団体**と国土交通省等との連携・協力体制を強化・深化、まちづくりに関連する関係団体・機関等と国土交通省との**政策対話**を展開等

(8)老朽化・陳腐化した市街地再生の検討

- ・都市の価値を高めつつ、**ストックの更新・修復**により**市街地を再生**する方策を検討等

(9)芝生のチカラの活用

- ・官民空間の一体的なリノベーションに当たっての**緑・芝生を活用**した空間の創出を促進等

(10)ウォーカブル・シティの形成

- ・**ストリート・デザイン・ガイドライン**の作成、歩きやすさ等を測る指標：**日本版ウォーカビリティ・インデックス(仮称)**の開発等

令和元年7月12日

都 市 局

まちづくり推進課・街路交通施設課

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりに取り組みませんか？

～まちなかを車中心からひと中心へ。チャレンジする自治体を募集します～

国土交通省は、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を目指し、国内外の先進事例などの情報共有や、政策づくりに向けた国と地方とのプラットフォームに参加し、ウォーカブルなまちづくりを共に推進する「ウォーカブル推進都市」を募集します。

世界の多くの都市で、まちなかを車中心からひと中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる場へと改変する取組が進められています。

これらの取組は、ひと中心の豊かな生活空間を実現させるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止ほか、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造につながります。

これらを踏まえ、本年6月26日に「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」において、「WE DO」～Walkable, Eyelevel, Diversity, Open をキーワードとするこれからのまちづくりの方向性が打ち出され、石井大臣よりこの取組に向けた政策実施のパートナーとして「ウォーカブル推進都市」募集等の指示がありました。

この「WE DO」に賛同いただける都市を、「ウォーカブル推進都市」として募集いたします。ウォーカブル推進都市の皆様とは、

- ・ 各種施策の情報提供や、国内外の先進事例の情報共有を進めるとともに、
- ・ 今後の政策づくりに対するご意見を伺い、検討に活かしていきたいと考えております。

国や地方公共団体という枠を超えて、ウォーカブルなまちづくりを目指し、一緒に盛り上げチャレンジしていただける各都市の皆様のご賛同をお待ちしています。

- 応募要件：① 人口規模の大小等に関わらず、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりに、首長はじめ団体として賛同していただける地方公共団体
- ② 何らかの取組を実施中あるいは構想等をお持ちの地方公共団体（※次ページイメージ参照）
- 応募方法：国土交通省 都市局 マチミチ会議事務局 hqt-machi-michi@mlit.go.jp まで、別紙様式をご送付ください。
- 募集時期：ウォーカブル推進都市は随時、募集を受け付ける予定ですが、令和元年8月2日（金）を目途に一定の募集取りまとめを行いたく、ご協力をお願い致します。

※ 報告書概要版はこちら。是非ともご一読ください。http://www.mlit.go.jp/tooshi/tooshi_machi_fr_000004.html

※ マチミチ会議のこれまでの動きや、参加希望はこちらまで。http://www.mlit.go.jp/tooshi/tooshi_gairo_tk_000081.html

問い合わせ先：国土交通省 都市局

まちづくり推進課 佐藤、江川 ※懇談会中間とりまとめに関すること

TEL 03-5253-8111(内線 32545)、03-5253-8406(直通)

街路交通施設課 奥田、今、相原 ※ウォーカブル推進都市募集に関すること

TEL 03-5253-8111(内線 32842, 32835)、03-5253-8417(直通) FAX 03-5253-1592



■ 募集目的

- ・ 各種施策の情報提供や、国内外の先進事例の情報共有
- ・ 今後の政策づくりに対する意見を伺い、検討に活用

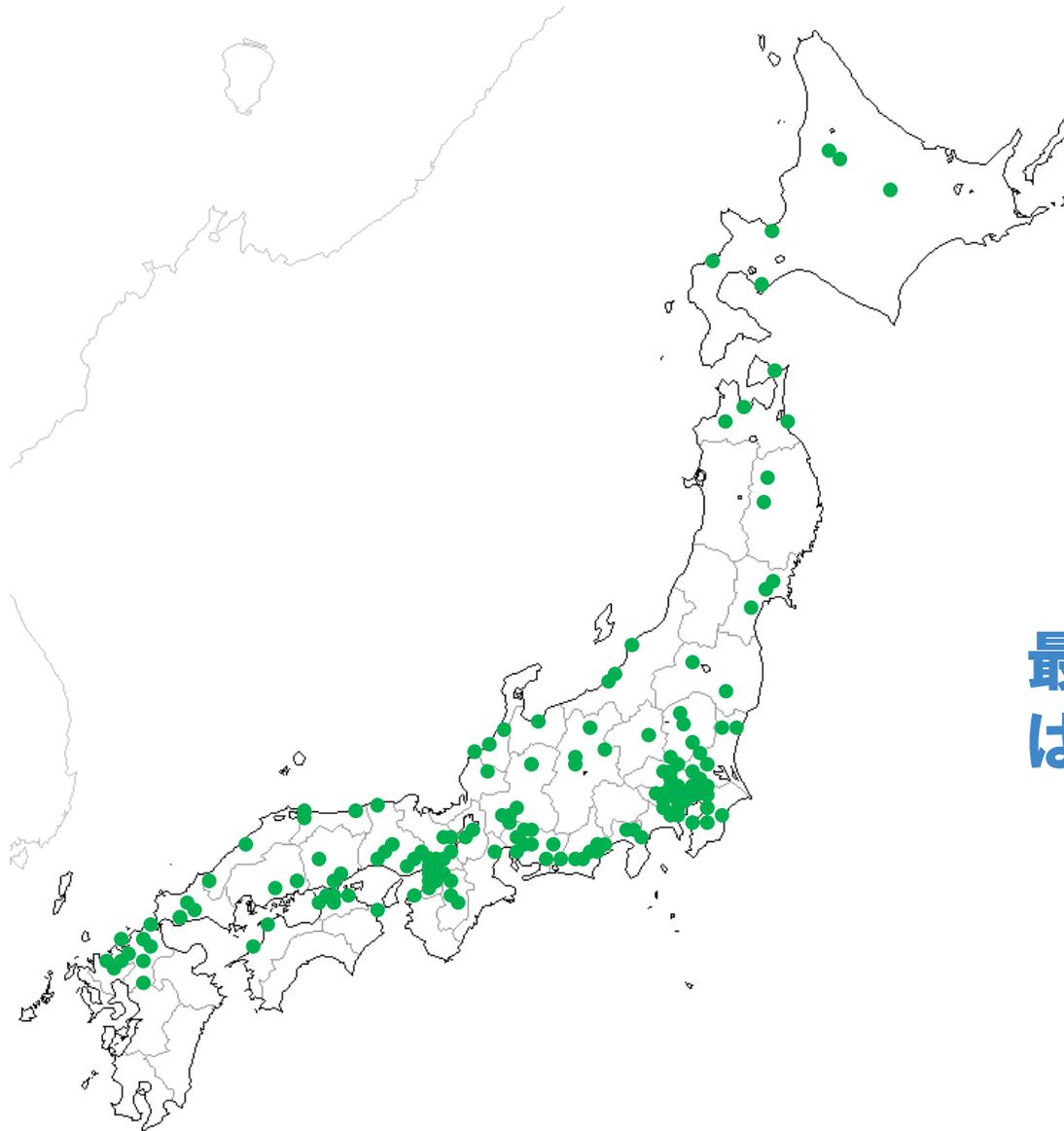
■ 応募要件：

1. 人口規模の大小等に関わらず、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」
づくりに、首長はじめ団体として賛同していただける地方公共団体
2. 何らかの取組を実施中あるいは構想等をお持ちの地方公共団体

詳細は記者は発表資料を
ご参照ください→



ウォークブル推進都市一覧(令和元年8月26日時点)①



最新の都市一覧
はこちらから！



ウォーカーブル推進都市一覽(令和元年8月26日時点)②

1 北海道札幌市	33 千葉県松戸市	65 富山県富山市	97 愛知県安城市	129 鳥取県鳥取市
2 北海道旭川市	34 千葉県野田市	66 石川県金沢市	98 愛知県犬山市	130 鳥取県米子市
3 北海道室蘭市	35 千葉県習志野市	67 石川県小松市	99 愛知県新城市	131 鳥取県境港市
4 北海道黒松内町	36 千葉県柏市	68 石川県加賀市	100 愛知県大府市	132 島根県江津市
5 北海道東神楽町	37 千葉県市原市	69 福井県福井市	101 三重県四日市市	133 島根県津和野町
6 北海道土幌町	38 千葉県八千代市	70 福井県大野市	102 滋賀県大津市	134 岡山県岡山市
7 青森県青森市	39 千葉県白子町	71 長野県	103 滋賀県草津市	135 岡山県倉敷市
8 青森県弘前市	40 千葉県長柄町	72 長野県長野市	104 滋賀県東近江市	136 岡山県高梁市
9 青森県八戸市	41 東京都	73 長野県松本市	105 京都府京都市	137 広島県三原市
10 青森県むつ市	42 東京都新宿区	74 長野県佐久市	106 京都府長岡京市	138 広島県福山市
11 岩手県盛岡市	43 東京都墨田区	75 岐阜県岐阜市	107 大阪府大阪市	139 山口県宇部市
12 岩手県花巻市	44 東京都品川区	76 岐阜県高山市	108 大阪府堺市	140 山口県山口市
13 宮城県仙台市	45 東京都目黒区	77 岐阜県美濃加茂市	109 大阪府豊中市	141 山口県防府市
14 宮城県塩竈市	46 東京都大田区	78 岐阜県各務原市	110 大阪府池田市	142 徳島県徳島市
15 宮城県柴田町	47 東京都渋谷区	79 静岡県静岡市	111 大阪府泉大津市	143 香川県高松市
16 福島県会津若松市	48 東京都中野区	80 静岡県浜松市	112 大阪府枚方市	144 香川県丸亀市
17 福島県棚倉町	49 東京都豊島区	81 静岡県沼津市	113 大阪府茨木市	145 香川県善通寺市
18 茨城県水戸市	50 東京都荒川区	82 静岡県熱海市	114 大阪府河内長野市	146 香川県観音寺市
19 茨城県下妻市	51 東京都八王子市	83 静岡県三島市	115 大阪府羽曳野市	147 香川県多度津町
20 茨城県笠間市	52 東京都武蔵野市	84 静岡県島田市	116 大阪府高石市	148 愛媛県松山市
21 茨城県つくば市	53 東京都町田市	85 静岡県掛川市	117 大阪府大阪狭山市	149 愛媛県大洲市
22 栃木県宇都宮市	54 東京都狛江市	86 静岡県藤枝市	118 兵庫県神戸市	150 福岡県北九州市
23 栃木県小山市	55 東京都多摩市	87 静岡県袋井市	119 兵庫県姫路市	151 福岡県飯塚市
24 栃木県上三川町	56 東京都稲城市	88 静岡県湖西市	120 兵庫県西宮市	152 福岡県春日市
25 群馬県前橋市	57 神奈川県横浜市	89 愛知県名古屋市	121 兵庫県西脇市	153 福岡県古賀市
26 埼玉県さいたま市	58 神奈川県川崎市	90 愛知県豊橋市	122 兵庫県加西市	154 福岡県うきは市
27 埼玉県春日部市	59 神奈川県鎌倉市	91 愛知県岡崎市	123 兵庫県新温泉町	155 福岡県川崎町
28 埼玉県戸田市	60 神奈川県逗子市	92 愛知県一宮市	124 奈良県大和郡山市	156 佐賀県
29 埼玉県朝霞市	61 神奈川県大和市	93 愛知県半田市	125 奈良県宇陀市	157 佐賀県佐賀市
30 埼玉県杉戸町	62 新潟県新潟市	94 愛知県春日井市	126 奈良県田原本町	158 佐賀県基山町
31 千葉県千葉市	63 新潟県三条市	95 愛知県刈谷市	127 奈良県上牧町	159 佐賀県上峰町
32 千葉県木更津市	64 新潟県見附市	96 愛知県豊田市	128 和歌山県和歌山市	160 熊本県南関町

※ウォーカーブル推進都市は随時、募集を受け付けている。

ストリートデザイン懇談会について

○ウォーカブルなまちなかを支えるこれからの時代のストリートの在り方を検討するため、有識者からなる「ストリートデザイン懇談会」を8月29日に設置。

○懇談会委員

・コア委員

岸井隆幸（日本大学特任教授、座長）、泉山墨威（東京大学助教）、小嶋文（埼玉大学准教授）、西村亮彦（国土舘大学講師）、藤村龍至（東京藝術大学准教授、副座長）、三浦詩乃（横浜国立大学助教）

・オブザーバー

東京都、神戸市、姫路市、UR都市機構、警察庁
・関係部局（道路局） ※事務局：国土交通省都市局

○スケジュール

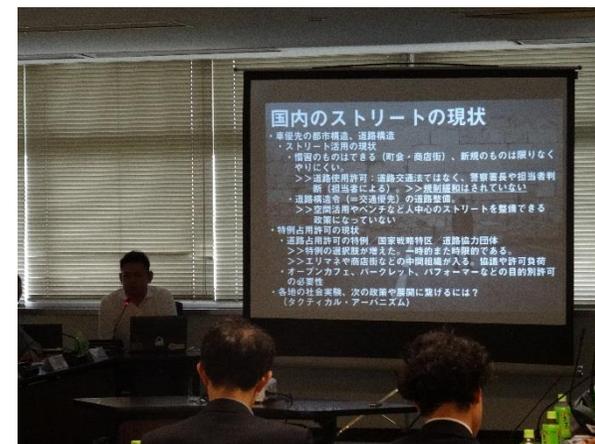
- ・8月29日（木）第1回「総論 ～これからのストリートに求められるもの～」
- ・10月1日（火）第2回「使う ～都市生活を豊かにするアクティビティ～」
- ・10月29日（火）第3回「作る ～居心地の良い歩きとなる公共空間デザイン～」
- ・11月頃 第4回「支える ～ストリートを支える環境づくり～」
- ・年内 中間とりまとめ（たたき台）の提示
- ・令和元年度内 中間とりまとめ公表

第1回懇談会の様子



三浦委員プレゼン

泉山委員プレゼン



Ⅲ. 令和2年度 概算要求主要事項

1. 都市の成長力上げ ～内外の人材・投資を惹きつける磁力・国際競争力強化～

(1) ウォーカブル都市の構築 (空間×コミュニティ)

多様な人材間の出会い・交流・滞在を促進し、イノベーションや新たなつながりを創出する都市の構築に向け、ウォーカブル推進都市※や中間支援団体とともに、都市・居住機能の集積が進むまちなかにおいて、既存ストック(街路、公園、水辺、広場、民間空地、景観資源、交通施設等)の改変による「居心地が良く歩きたくなる」空間の創出と、官民の人材が集うコミュニティづくりを強力に推進する。
 ※“WEDO”の考え方に共鳴し、政策実施のパートナーとして、ともに具体的な取組を進める地方公共団体

施策の概要

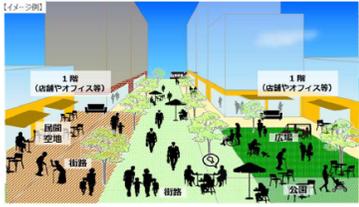
「居心地が良く歩きたくなる」空間 × 官民の人材が集うまちづくり⁺コミュニティ

ウォーカブル都市

(内外の人材・関係人口・様々な投資を惹きつける交流滞在都市)

①「居心地が良く歩きたくなる」空間への改変

まちなかの歩ける範囲のエリアにおいて、官民の既存ストック改変を集中的に行い、様々な民間投資と共鳴しながら「居心地が良く歩きたくなる」空間創出を強力に推進
 【交付金(都市再生整備計画事業)等】



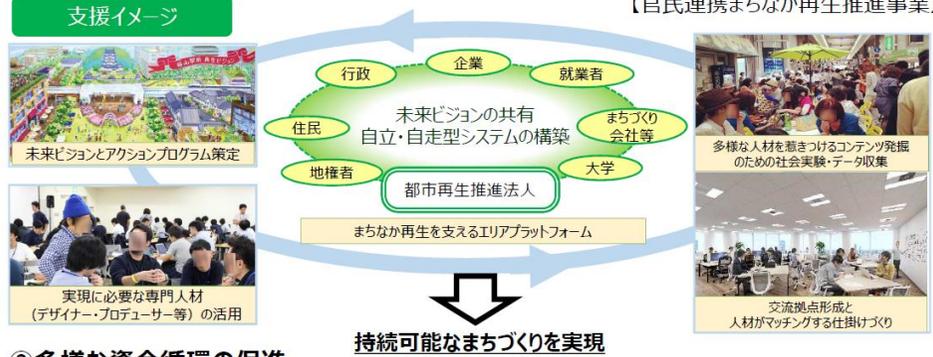
- Walkable** 歩きたくなる
- Eye level** まちに開かれた1階
- Diversity** 多様な人の多様な用途、使い方
- Open** 開かれた空間が心地良い

支援イメージ

- ・街路等の広場化・高質化など、歩行者滞在空間の創出に向けた修復・改変
 -
 -
- ・沿道施設1階の開放・リノベーションなど、アイレベル(歩行者目線)の刷新
 -
 -
- ・広場化に向けた行動観察やデザイン検討の導入
 -
 -
- ・景観改善等
 -
 -

②官民の人材が集うまちづくり⁺コミュニティの構築

内外の人材がまちづくり⁺の課題に幅広く集結するエリアプラットフォームの形成や持続可能なまちづくりに向けた自立・自走型システムの構築等を推進



③多様な資金循環の促進

ふるさと納税・クラウドファンディングなどの「志ある資金」の活用を促進するなど、まちづくり分野における多様な資金の循環を促進
 【まちづくりファンド支援事業 等】

施策の効果



地価 地価公示価格 **25%上昇**
 120万円(H30) ⇒ **150万円/m²**(H31)



2010年以降、ブロードウェイをはじめニューヨークの街路は広場化が進み、沿道店舗の売上増などにつながっている。



2024年を完成目標とし、エッフェル塔周辺から車道を排除し、歩行者専用の広大な緑地広場を造る計画が進む。

R2年度 都市局関係予算概算要求概要-②

IV. 令和2年度 新規・拡充要求等

1. 都市の成長力引上げ ～内外の人材・投資を惹きつける磁力・国際競争力強化～

(1) 「居心地が良く歩きたくなる」まちなか空間の整備

まちなかリノベーション推進事業 補助	1.5 億円(皆増)
社総交	10,037 億円の内訳
まちなか景観資源活用促進事業 補助	20.0 億円(皆増)
都市・地域交通戦略推進事業 補助	8.3 億円(1.20 倍)
社総交	10,037 億円の内訳

歩行者の目線に着目し、民間の様々な投資と共鳴しながら、街路・公園などの既存ストックを最大限活用した「居心地が良く歩きたくなる」空間創出に向けた修復・改変を強力に推進するため、「まちなかリノベーション推進事業」等の創設をはじめ関連制度について所要の改正を行う。

まちなかウォークブル区域

※まちなかの歩ける範囲のエリアであって、賑わいあふれるまちなかづくりに必要な施策を重点的に講じる区域

- Walkable 歩きたくなる
- Eye level まちに開かれた1階
- Diversity 多様な人の多様な用途、使い方
- Open 開かれた空間が心地良い



まちなかを人中心の「居心地が良く歩きたくなる」空間へ転換

- ① 既存ストックの活用に向けた修復・改変
- ② 歩行者目線の充実・改変
- ③ 行動観察等まちづくり活動やデザイン検討・利活用施設の導入

まちなかリノベーションに必要な基盤整備を実施

- ④ オープンデータ・新技術等の導入
- ⑤ 外周街路等の交通環境整備 等

都市再生整備計画区域

※まちなかウォークブル区域を含む現行の都市再生整備計画区域を想定

支援対象イメージ

① 既存ストックの活用に向けた修復・改変



街路等の広場化



公共空間の
芝生化・高質化



② 歩行者目線の充実・改変



アイレベルの刷新
(沿道施設1階の
開放・リノベーション)



景観資源の活用
(観光地の景観改善等)



③ 行動観察等まちづくり活動やデザイン検討・利活用施設の導入



オープンカフェ等の実施



社会実験



デザイン検討



街路空間内の
電源設備

④ オープンデータ・新技術等の導入



GPSによる人の移動軌跡の把握
大宮駅
AIやIoTを活用
した新技術の導入

⑤ 外周街路等の交通環境整備



荷捌き駐車場の
整備